

OTHER BUSINESS

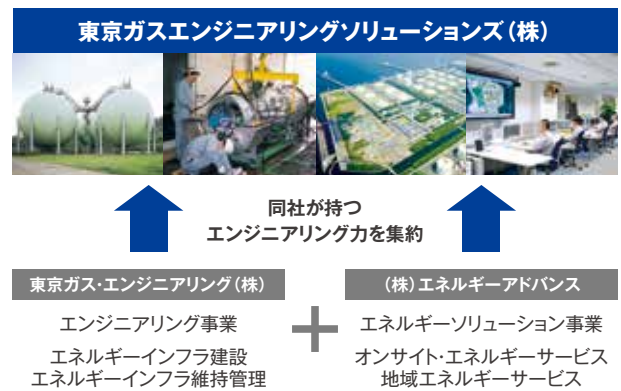
その他の事業

東京ガスグループでは、総合エネルギー事業の進化に資する取組みとして、多くの事業を推進しています。その中から「エンジニアリングソリューション事業」と「LNG販売事業」、「不動産事業」についてご紹介します。

エンジニアリングソリューション事業

グループに分散していたエンジニアリング力とエネルギーソリューション力を集約

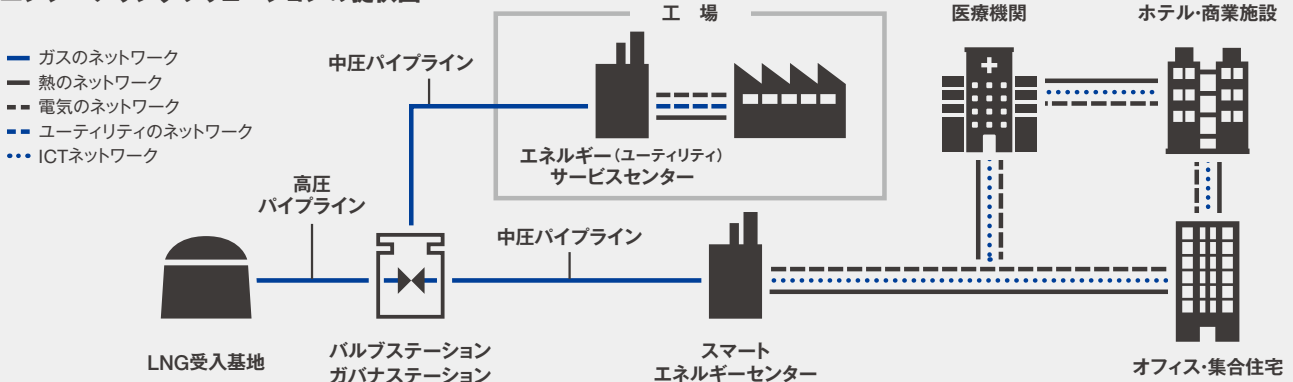
2015年4月に、LNG基地をはじめとするエネルギーインフラ建設・維持管理等のエンジニアリング事業を行う東京ガス・エンジニアリング(株)と、エネルギーサービス事業、地域冷暖房事業、電力事業関連のエンジニアリング事業を行う(株)エネルギーアドバンスを統合し、「東京ガスエンジニアリングソリューションズ(株)」(以下、TGES)が発足しました。



グループに分散していたエンジニアリング力とエネルギーソリューション力をTGESに集約することで、LNGバリューチェーンにおける「受入・製造～供給・発電～エネルギーソリューション」にわたる幅広い領域で、国内外のお客さまのニーズにあったソリューションをワンストップで提供していきます。



エンジニアリングソリューションの提供図





蓄積してきたノウハウを活かした 独自のエンジニアリングソリューション

国内

BCP(事業継続計画)対応エネルギー供給システムの構築

TGESが1998年から運営する「蒲田東地域冷暖房センター」は、大田区で熱エネルギー（蒸気・冷水）・電気の供給をしています。2015年7月には当センターに停電対応型ガスコージェネレーションシステム(CGS)を導入するとともに、供給先とセンターの電力系統を統合し、停電時においてもCGSで発電した電力を街区全体で活用できる環境を整備しました。CGSの活用による電気と熱の最適運用で、地域全体の防災力向上に寄与しています。



海外

エネルギーサービス事業

東レグループのマレーシアおよびアメリカの工場において、TGESの海外子会社が、エネルギーサービスを提供します。

エネルギーサービスとは、ガスコージェネレーションシステムやボイラ、空調、水処理などの設備を有するエネルギープラントを建設し、それを使って作り出した電気や蒸気、水等を一括して効率的に提供するサービスです。TGESの実績に基づいたプラントの設計やメンテナンスにより、最適なシステムによる省エネと長期に渡るコストの低減を実現するとともに、お客さまとの長期契約に基づきエネルギーサービス料金を受け取ります。



エンジニアリング事業

タイPTTLNGのマプタプットLNG受入基地拡張工事におけるプロジェクト管理(PMC)業務を特命受注し、業務を遂行中です。LNG受入基地工事における日本企業のPMC業務の受注は、世界で初めてとなります。マプタプットLNG受入基地は、経済発展により国内エネルギーの需要増大が見込まれるタイで初のLNG受入基地です。

世界に先駆けLNG基地の建設・維持管理・運用等に長く取り組むことで積み上げてきた当社グループの経験と強みを活かして、海外での事業展開を推進しています。





LNG販売事業

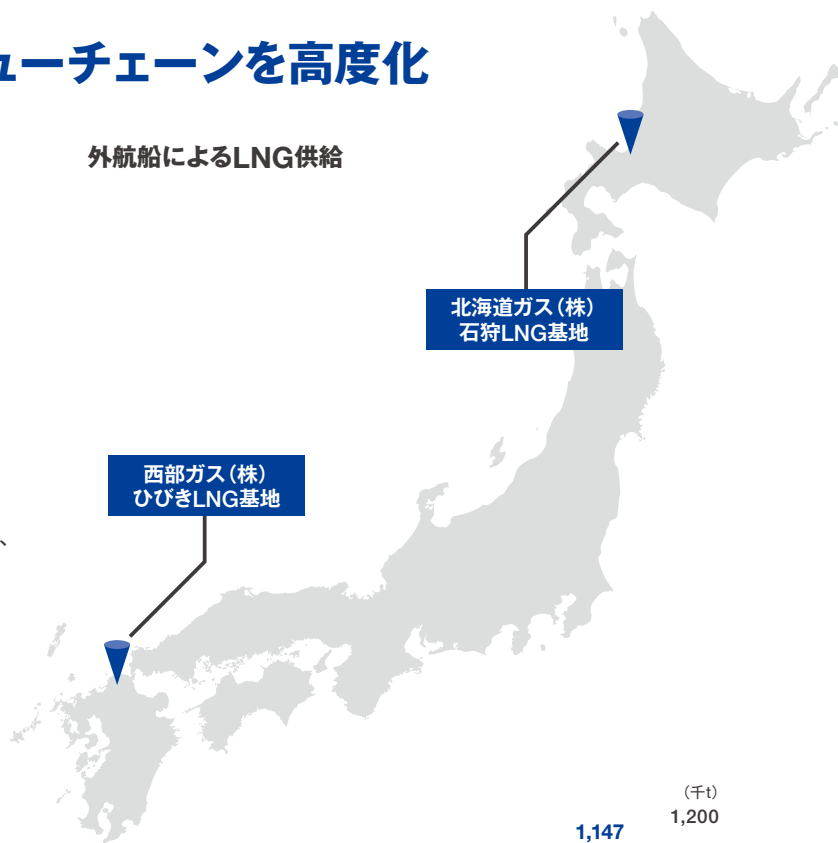
LNG供給を全国へ展開し、 販路の拡大を通じてLNGバリューチェーンを高度化

関東圏にとどまらず、ローリー車や大型外航船の活用により、自社で調達したLNGの販路を全国のガス事業者に広げていく取組みを進めています。

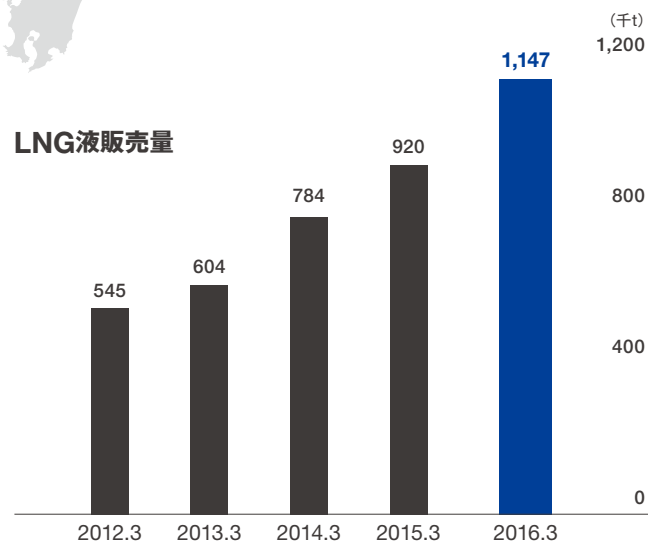
2012年10月には、北海道ガス(株)の石狩LNG基地への供給を開始しました。当社グループとして、初めて自社のLNG調達ソースから外航船を活用し、国内ガス事業者に供給したこのプロジェクトでは、2013年3月期から11年間にわたり、年間約30~40万トンのLNGを供給します。

また西部ガス(株)との間でも2015年3月期からの16年間にわたり、年間約30万トンのLNGを販売する契約を締結し、2014年10月から供給を開始しました。

外航船によるLNG供給



LNG液販売量





不動産事業

ポテンシャルの高い保有不動産を有効活用することで安定収益を追求

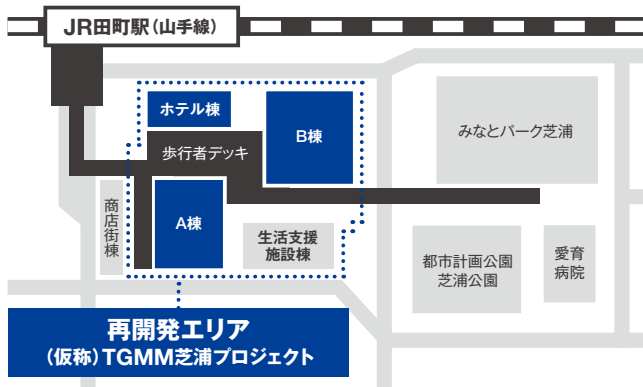
当社グループは、首都圏に田町や豊洲等、ポテンシャルの高い大規模不動産を保有しています。リスクを限定しながら保有不動産の開発を行い、有効活用することによって資産価値の向上を図ります。また開発に当たっては、先進的エネルギーシステムであるスマートエネルギーネットワークを導入し、資産価値の向上に寄与しながら、エネルギー事業者としての取組を推進していきます。



田町

JR田町駅に直結した大規模再開発エリア

田町駅周辺エリアは、羽田空港やリニア中央新幹線の整備進展により、国際都市東京の玄関口としての役割を期待されています。駅前直結の2.8haの土地に、オフィス、ホテル、商業施設を建設中です。



2015年	10月	A棟・ホテル棟・スマートエネルギーセンター着工
2018年	4月	スマートエネルギーセンター竣工予定
2018年	5月	A棟・ホテル棟竣工予定

豊洲

世界中から注目を浴びる“五輪開催エリア”に複合市街地を計画

豊洲再開発エリアは東京駅から直線距離で約4kmの好立地にあり、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、豊洲を含む湾岸部には一層注目が高まっています。当社グループは約20haの広大な開発エリアにおいて、住宅・業務・商業などによる複合市街地の形成を目指します。

